

令和4年度 総合型選抜

(工, 物質理工, 情報理工, 生命理工, 環境・社会理工学院)

学生募集要項

出願期間	令和3年12月17日(金)～12月21日(火)
第1段階選抜合格者発表日	令和4年2月7日(月)
第2段階選抜個別学力検査実施日	令和4年2月11日(金)
合格者発表日	令和4年2月15日(火)
入学手続日	令和4年2月21日(月)

入学希望者へのメッセージ

誰も見たことのない未来をつくりだせ

世界はいまだ謎に満ち、課題にあふれています。生命はいかにして誕生したのか。人工知能は医療を、経済を、社会を、どう変えるのか。病に伏した人をどう癒すのか。宗教間の対立は止むことはなく、エネルギー問題も重くのしかかっています。一朝一夕には答えの見いだせないこうした謎や課題をめぐって、いまこの瞬間も、世界中の科学者や技術者、その他各分野の専門家たちが、その叡智をかけて議論しあっています。真理の探究と幸せの追求をかけた人類のあくなき挑戦。その壮大な歩みに、あなたは仲間入りしようとしています。

1881年に創立されて以来、時代を切り拓くフロントランナーとして、理工系総合大学としての使命を担ってきた東京工業大学。目指すのは、科学技術の強い基盤を持ちながら、従来の“理系”の枠を超え出ること。なぜなら、どんなに高度で専門的な知識でも、ただそれを持っているだけでは、わくわくするような発見や発明に出会うことも、困難な問題を解決に導くことも、決してできないからです。だからこそ、本学の門を叩こうとするあなたには、以下のような心構えを持ってのぞんでほしい。“理系”の枠に安住しない人を、本学は求めています。

①高い志を持ってほしい

これからの時代、ただ引かれたレールに乗っかっていくだけ、ただ自分の専門に没頭するだけでは通用しません。あなたは将来、何を為したいのか。社会に、どんな貢献をしたいのか。高い志を持ち、それを育てる人であってほしい。その志にかたちを与えるのが科学技術です。東工大は、志をかたちにしようとする人を支えます。失敗をおそれず挑戦し、すすんで学ぶ人を歓迎します。

②多角的な視点を持ってほしい

常識や「空気」にとらわれた思考では、新しい発想は生まれません。自分の強みを持ちつつ、幅広い分野に興味を広げ、専門の異なる人や文化の異なる人とも協働できる柔軟な姿勢を持って、世界にはばたいてほしい。ものごとを多角的にとらえる視点からこそ、「そんな考え方もあったのか!」と人々を驚かせるアイディアは生まれます。人と人、知と知を結びつけようとする人を本学は求めます。

さあ、誰も見たことのない未来を、ともに作り出していきましょう。気概あるみずみずしい知性と出会うことを、期待しています。

〈学士課程〉 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

求める人材像

科学技術への知的好奇心や探究心と社会に貢献したいという志を有し、その基本的概念や基礎知識とそれを活用できる力を身に付けた人材を求めます

求める力

専門力	理数系分野に関する基本的概念や基礎知識
教養力	社会に関する基礎的知識と語学力
コミュニケーション力	自らの考えを具体的に表現できる力
展開力	論理的に思考して自らの知識を活用できる力

各学院が求める人材像

【理学院】

理学院学士課程では、幅広い教育と自由な発想に基づいた研究を通じて、社会や文化の発展に広く貢献することを目指しています。そのために次のような学生を求めます。

- ・自然界の仕組みについて深く知りたいという強い好奇心を持つ人
- ・教わるだけでなく、自ら主体的に学ぶことができる人
- ・自分の意見を持ち、他者と議論することができる人
- ・十分な学力と表現力を持つ人

【工学院】

工学院学士課程では、人の生活を豊かで快適なものとするための工学的知識・技術を習得し、さらにそれらを進化させるための研究活動の基本を身につけます。そのために、次のような人材を求めます。

- ・工学的知識・技術を活かして人類と社会の発展に貢献しようという高い志を有する人
- ・自らの能力向上のために積極的に学ぶ意欲をもつ人
- ・工学を学ぶために、理数系科目を中心とする確実な基礎学力を身につけた人
- ・論理的思考力を有し、他者と意思疎通できる基本的なコミュニケーション力を備えた人

【物質理工学院】

物質理工学院学士課程では、材料科学および応用化学に関する確かな基礎学力と明快な論理的思考力を持ち、環境調和型社会の発展に貢献できる人材を養成します。そこで、次のような学生を求めます。

- ・自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し、柔軟な発想ができる人
- ・材料や応用化学に関係する諸現象について積極的に学習する意欲がある人

【情報理工学院】

情報理工学院学士課程では、よりよい情報化社会を築くために必要となる情報理工学に関する幅広い知識と柔軟で広い視野を持った人材の育成を目指します。そのために、次のような資質と能力を持つ人材を求めます。

- ・数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人
- ・数理工学に興味を持ち、コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人
- ・情報理工学の知見を活かし情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人

【生命理工学院】

生命理工学院学士課程では、理工系の基礎知識や生命理工学分野の基礎的専門知識を修得させ、生命理工学に関連した科学・技術の発展に資する課題解決力と倫理観を養います。そこで、本学院では次のような能力と適性をもつ人材を求めます。

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している人
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる人
- ・生命理工学の専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している人
- ・生命現象を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している人

【環境・社会理工学院】

環境・社会理工学院学士課程では、人類と社会の持続的発展に貢献するために理工学的叡智に加えて人文社会科学の叡智を広く環境や社会に応用・展開して卓越した学術・技術を創生するとともに、高い知性と豊かな教養、国際的な広い視野と深い思考能力を備え、科学・技術の専門家として社会で活躍できる人材を養成する。そこで、本学院では特に次の能力と適性を持つ人材を求めます。

- ・理数系分野に関する基本的な概念や確実な基礎知識を持つ人
- ・学士課程の専門力を身につけるため必要となる基礎的な語学力を持つ人
- ・自らの能力向上のため主体的に理工学分野ならびに人文社会科学分野について学ぶ意欲を持つ人
- ・人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を持つ人

I. 求める学生像

(1) 工学院

機械系，システム制御系，電気電子系，情報通信系，経営工学系の学問分野に強い興味を抱き，人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志と理系科目を中心に十分な基礎学力を有する者。とりわけ総合型選抜では，柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための説明力および他者の発想を理解できる能力に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

(2) 物質理工学院

化学と物理を基盤として，自然科学の幅広い分野について基礎学力を有し，柔軟な発想ができる者，また，物質分野，すなわち材料や応用化学に関する諸現象について積極的に学習する意欲があり，環境調和型社会の発展に貢献しようという強い志をもつ者。とりわけ総合型選抜では，これらの資質や能力に秀で，自分の考えをしっかりと他者に説明できる人を求めます。

(3) 情報理工学院

次のような資質と能力を持つ人を求めます。数学や理科に関する十分な基礎学力を有する人，数理学に強い興味を持つ人，コンピュータの仕組みや活用法に興味を持つ人，情報化社会の発展に貢献したいという志を有する人。とりわけ総合型選抜ではこれらの資質や能力のいずれかに秀で，自発的に活動できる人を強く求めます。

(4) 生命理工学院

生命現象を徹底的に探求したいという旺盛な知識欲を持つ者，また，そこから得られた知識を応用して新しい創造的世界を開拓したいという意欲にあふれる者など，チャレンジングな理系精神を持って生命理工学を学びたい者。とりわけ総合型選抜では，生物に秀でた素質が認められる者を求めます。

(5) 環境・社会理工学院

人類と社会の持続的発展に環境と生活・産業基盤の観点から貢献しようという高い志を有し，理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけ総合型選抜では，ローカルおよびグローバルな問題の解決に対する柔軟な発想力と，その発想を他者と共有するための表現力の2点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

II. 募集人員

学院	系 ※1	募集人員
工学院	機械系	34 人
	システム制御系	
	電気電子系	
	情報通信系	
	経営工学系	
物質理工学院	材料系	18 人
	応用化学系	
情報理工学院	数理・計算科学系	6 人程度 ※2
	情報工学系	
生命理工学院	生命理工学系	15 人※2
環境・社会理工学院	A 建築学系	7 人
	B 土木・環境工学系	5 人
	C 融合理工学系	5 人
全学合計		90 人

※1 「系」欄は2年目以降で所属可能な系を示しています。

※2 情報理工学院・生命理工学院については、選考の結果、期待する水準に達した者が少なく、合格者数が募集人員に満たない場合は、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。

III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和4年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和4年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和4年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程(又は相当する課程)を有するものとして認定(又は指定)した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者及び令和4年3月31日までに修了見込みの者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和4年3月31日までに合格見込みの者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年3月31日までに18歳に達するもの

[注] 上記3の(6)により出願しようとする者は、出願前の下記の期間に出願資格審査を行うため、入試課に連絡のうえ(電話 03-5734-3990)、必要書類をそろえて申請してください。申請書類等の詳細については、本学ホームページの「高校生・受験生向けサイト」(巻末参照)にて確認してください。

【出願資格審査申請期間】

令和3年11月4日(木)～11月12日(金)

IV. 出願に際しての注意

合格した場合には必ず入学することを確約できること。

V. 出 願

1. 出願期間 **令和3年12月17日(金) ~ 12月21日(火) (12月21日必着)**
2. 出願方法 **郵送のみ受け付けます。**
出願書類等は、本学所定の封筒に入れ、必ず「速達書留」で郵送してください。
3. 出願書類等 出願書類のうち、ア、イ、オ、カ、キ、ク、ケ及びコは、本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 入学志願票・ 電算処理票	必要事項(太枠内)を記入してください。記入漏れのないようにし、用紙は切り離さないでください。
イ 写真票・受験票	写真票・受験票の必要箇所(太枠内)に志願者の氏名・フリガナ・志望学院を記入し、写真票の写真欄には、半身脱帽正面向で出願前3か月以内に撮影した写真(縦4cm×横3cm, カラー)を貼ってください。受験票の発送は12月24日(金)の予定です。1月4日(火)までに届かない場合は、1月5日(水)以降入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入学 共通テスト 成績請求票	大学入試センターから交付された、 令和4共通テスト成績請求票 のうち、『 総合 国公立総合型選抜用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 調査書	<p>① 4ページのⅢ出願資格1, 2及び3の(2)によって出願する者は、「令和4年度大学入学者選抜実施要項」(文部科学省通知)に基づき、出身学校長が所定の様式により作成したもので、必ず厳封したものを提出してください。</p> <p>② 高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定合格者を含む。以下同じ。)は、その合格成績証明書をもって調査書に代えることができます。なお、高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び合格見込みの者のうち資格検定の受験科目の一部について検定を免除されたものは、その免除された科目についての学校長が発行した調査書又は成績証明書(厳封されたもの)を併せて提出してください。</p> <p>③ ①及び②以外の者は、出願資格を有することの証明書及び成績証明書をもって調査書に代えることができます。(大学入学共通テスト(以下「共通テスト」という。)受験案内の出願資格と証明書類に関するページを参照のうえ原本を提出してください。)</p> <p>④ 指導要録の保存期間経過又は廃校、被災その他の事情により調査書が得られない場合は、卒業証明書に加えて成績証明書又は単位修得証明書等を提出することで調査書の提出に代えることができます。なお、上記理由により調査書、成績証明書及び単位修得証明書等の提出ができない場合は、卒業証明書に加えて学校長からの当該文書が「発行できない旨の文書」を提出してください。</p>
オ 志望理由書	<p>志望理由を800字以内で記述してください。(全学院共通)</p> <p>※生命理工学院志願者は学習・活動・研究の実績など、自らのアピールを含めてください。</p> <p>例：生物が好きで取り組んだ学習や活動。授業や課外での取り組みや活動(生物に限定しない)。その他、困難を乗り越えてやり抜いたこと。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症対策による、各種活動・催し等の中止など変更による影響に配慮するので、当初の計画や代替の活動、感染症対策下における工夫など、アピールできるものを自由に記してください。</p>
カ 活動実績報告書 (情報理工学院志願者 のみ提出)	志願者の活動や研究を志願者本人が記載してください。様式は本募集要項には添付しておりません。「高校生・受験生向けサイト」よりダウンロードして(PDF形式またはMS-Word形式)作成してください。

キ 入学検定料	<p>17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。</p> <p>なお、一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。</p> <p>ただし、第1段階選抜の不合格者には、13,000円を返還します。返還方法については、第1段階選抜合格者発表日以降に郵送でお知らせします。</p> <p>※入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により災し、災害救助法(昭和22年法律第118号)の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。下記のような場合に免除となりますが、詳しくは出願期間前に入試課までお問い合わせください。</p> <p>① 主たる家計支持者が所有する自宅家屋が全壊、大規模半壊、半壊、流出した場合。 ② 主たる家計支持者が死亡又は行方不明の場合。</p>
ク 受験票送付用封筒（薄橙色）	<p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、354384円分の切手を貼ってください。</p>
ケ 個人別成績送付用封筒（薄紫色）	<p>この個人別成績送付用封筒により、個人別成績を簡易書留にて送付します。（5月中旬頃送付予定）</p> <p>志願者の郵便番号、住所及び氏名を記入し、404円分の切手を貼ってください。なお、封筒を同封していないものについては、個人別成績は送付しませんので、あらかじめ注意してください。</p>
コ 住所票	<p>志望学院、住所、氏名等を記入してください。</p>
サ その他（該当者のみ）	<p>① 日本国籍を有しない者は、在留カードの両面の写し（在留期間満了日前であれば外国人登録証明書でも可）又は、国籍及び在留資格を確認できるもの（パスポートの写し、在日公館の証明書等）を提出してください。</p> <p>② 出願資格審査により認定された者は、「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。</p>

- 環境・社会理工学院を志望する志願者は、出願書類全ての志望学院記入欄に、「環境・社会理工学院A」、「環境・社会理工学院B」、「環境・社会理工学院C」を選んで記入してください。
- 障害等のある志願者は、受験上又は修学上の配慮を必要とすることがありますので、事前に入試課に申し出てください。

VI. 共通テストの受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。

なお、指定された教科・科目を1つでも受験しない場合は、本学を受験することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史、公民	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理、政治・経済」から1科目
数学	「数学I・数学A」、「数学II・数学B」の2科目
理科	「物理」、「化学」、「生物」、「地学」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」、「ドイツ語」、「フランス語」、「中国語」、「韓国語」から1科目

注. 「地理歴史、公民」において、指定した科目数を超えて受験した場合には第1解答科目の得点を用います。ただし第1解答科目が本学が指定した科目でない場合には、本学を受験することができません。（この場合の第1解答科目とは、「地理歴史、公民」の試験時間に2科目を受験した場合において、前半の60分間で解答した科目のことをいいます。）

VII. 2段階選抜

1. 第1段階選抜

【工学院，物質理工学院，環境・社会理工学院A，B】

志願者数が学院（環境・社会理工学院においてはAまたはB）ごとの募集人員の**約2～3倍**を超えた場合には，本学が指定する共通テスト5教科7科目の成績（得点合計）により第1段階選抜を行うことがあります。

【情報理工学院】

志願者数が学院の募集人員の**約2～3倍**を超えた場合には，共通テストの得点と出願書類を用いて第1段階選抜を行うことがあります。第1段階選抜の判定では活動実績報告書の内容を重視します。共通テストの得点は，基礎学力の判定のために用い，概ね650点以上の得点かどうかで判断します。

【生命理工学院】

共通テストの得点は，基礎学力の判定のために用い，概ね650点以上の得点かどうかで第1段階選抜を行います。さらに，志願者が学院の募集人員の**約2～3倍**を超えた場合には，共通テストの得点と出願書類を用いて第1段階選抜を行うことがあります。

【環境・社会理工学院C】

志願者数が環境・社会理工学院Cの募集人員の**約2～3倍**を超えた場合には，共通テストの得点と志望理由書，調査書を用いて第1段階選抜を行うことがあります。共通テストの得点は基礎学力の判定のために用い，概ね700点以上の得点かどうかで判断します。

第1段階選抜における共通テストの各教科の配点は，下表のとおりです。

教科	国語	地理歴史， 公民	数学	理科	外国語※	合計
配点	200	100	200	200	200	900

※ 外国語科目として「英語」を選択した場合，200点の内訳は【リーディング】100点，【リスニング】100点とします。

なお，「英語」を選択し，【リスニング】を免除された者は，【リーディング】の配点100点を200点に換算した得点とします。

(1) 第1段階選抜合格者発表日

令和4年2月 7日（月）17：00頃

本学ホームページの「高校生・受験生向けサイト」に掲載します。(PDF形式)

(2) 第1段階選抜合格者は，送付されている受験票により，第2段階選抜試験を受験してください。

(3) 受験票は12月24日頃に志願者全員に発送しますが，第1段階選抜の不合格者は第2段階選抜を受験することができません。

2. 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して，個別学力検査（総合問題），志望理由書，調査書及び各学院が指定する提出書類を総合的に評価し，合格者を決定します。

ア 試験日等

第2段階選抜試験実施日

令和4年2月11日（金）

学院	総合問題	試験時間	配点
工学院	筆記 面接	9:30～11:30 (120分) 13:30～16:30	100
物質理工学院	筆記 面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～18:00	100
情報理工学院	面接	9:30～18:00	100
生命理工学院	筆記 面接	9:30～11:00 (90分) 13:30～18:00	100
環境・社会理工学院	A 造形課題	9:30～11:30 (120分)	100
	B 筆記 面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～16:30	100
	C 面接	9:30～12:30	100

イ 試験内容等

学院	総合問題	内 容
工学院	筆記	数学や物理に関連した工学の基礎となる課題の設定により、論理的な思考力、解決力および記述力を評価する。
	面接	工学分野に対する志望動機、与えられた物理や数学のテーマに関して論理的かつ明快に説明する能力を評価する。
物質理工学院	筆記	自然科学全般を範囲とし、特に化学と物理を中心とする知識及び考え方について出題し、論理的な思考力とともに記述力も評価する。
	面接	科学的な知識及び考え方について試問し、考察力、表現力とともに物質についての科学技術を学ぶ上での適性を評価する。
情報理工学院	面接	志願者の活動実績報告書に関する発表や質疑応答等に基づき、情報に対する適性・素養・説明能力を評価する。
生命理工学院	筆記	生物に関する設問により、基礎学力、論理的な思考力及び記述力を評価する。
	面接	生命理工学分野に対する志望動機、学習意欲、論理的な思考力及び適性を評価する。
環境・社会理工学院※	A 造形課題	高校数学Ⅲ程度までの数学を応用した建築に関連する形態の造形、スケッチおよび説明文を解答させ、建築・都市空間の創造力を評価する。
	B 筆記 面接	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して、問題の所在を整理し、解決できる素養並びにその表現の能力を評価する。
	C 面接	グローバル化する世界の環境および社会的な問題について見解を論理的に形成し、それを表明し、審査員と質疑応答する面接を行う。これによって論理的な思考力、表現力、対話によって思考を深める力を評価する。

※ 環境・社会理工学院では、学士課程2年目の系所属の際に総合問題Aを受験し合格した者は建築学系に、総合問題Bを受験し合格した者は土木・環境工学系に、総合問題Cを受験し合格した者は融合理工学系に、それぞれ所属する。

ウ 試験場等

個別学力検査は本学大岡山キャンパスで実施します。

個別学力検査に関する注意事項、試験室の案内については、第1段階選抜合格者発表と同時に「高校生・受験生向けサイト」に掲載しますので、事前に必ず確認してください。(PDF形式)
なお、個別学力検査当日も、正門付近で配付する予定です。

エ 調査書の評価項目

調査書は、大学入学者選抜における学力の3要素の内、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するための資料として活用し、評価項目は下記項目のとおりとします。

評価項目	新調査書における記載該当欄
1. 学習の姿勢等	7. 指導上参考となる諸事項 (1) 学習における特徴等 (2) 行動の特徴、特技等
2. 課外活動実績	7. 指導上参考となる諸事項 (3) 部活動、ボランティア活動、留学・海外経験等
3. 特別活動実績	6. 特別活動の記録
4. 受賞歴や資格取得等	7. 指導上参考となる諸事項 (4) 取得資格、検定等 (5) 表彰・顕彰等の記録
5. 上記以外の活動実績	5. 総合的な学習の時間の内容・評価 7. 指導上参考となる諸事項 (6) その他 8. 備考

調査書等の評価は、各学院とも、第2段階選抜の総合問題(100点)の内に含めるものとします。

なお、調査書の活用については、志願者の高等学校等における日常的な学習や一般的な課外活動等を評価するものであり、高等学校等や受験生に対して特別な活躍や資格を提示すること、新たな取り組みを強いるものではありません。また、各項目の評価は文章の表現や量に左右されるものではありません。

注1. 情報理工学院を志願する場合、上表で示した調査書の評価項目が、別途提出を求めている活動実績報告書と重複しても差し支えありません。

注2. 新型コロナウイルスの感染症拡大による緊急事態宣言が発令されたことに伴い、休校による出席日数や特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者が不利益を被ることのないよう考慮します。

VIII. 合格者発表

1. 合格者発表日

令和4年2月15日(火) 12:00頃

「高校生・受験生向けサイト」に掲載します。(PDF形式)

また、合格者発表と同時に合格者に対して、合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。

2. 可否に関する電話・メール等による問い合わせには一切応じません。

なお、試験当日に、学外(大学正門前、大岡山駅周辺)で行っている可否電報等の勧誘は、本学とは一切関係ありませんので、十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

IX. 入学手続等

入学手続は郵送のみで行います。

2月21日(月)必着とし、必要書類を速達書留により郵送してください。詳細な手続事項は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

1. 入学料・授業料について

- (1) 入学料282,000円(予定)は、所定の払込取扱票を用い、郵便局・ゆうちょ銀行又は金融機関で2月18日(金)までに払い込んでください。入学手続書類が届かなかった等の理由により、2月18日(金)中に入学料を払い込めなかった場合、E-mailにてその旨を連絡してください。
- (2) 授業料は、前学期分・後学期分各317,700円(年額635,400円)(予定)です。納付は、前学期分5月末まで、後学期分11月末までとなっています。納付期限の変更が行われた場合、その都度本学ホームページに掲載します。入学後、口座振替での納付となりますので、3月9日(水)に本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。(やむを得ず口座振替での納付ができない場合には、払込取扱票による振込も可。)
- (3) 入学料・授業料免除を希望する者については、入学料・授業料を払い込まず本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。
- (4) 授業料は希望により、前学期分の納付の際に後学期分も合わせた年額を納付することができます。
- (5) 在学中に授業料改定が行われた場合、在学生に適用する授業料額については、その都度公示します。

2. その他諸経費

- ア 各種保険等(30,000円程度)
- イ その他

X. 追試験・別形式の選抜への振替

本学では、新型コロナウイルス感染症に罹患した入学志願者の受験機会を確保するため、総合型選抜において追試験又は別形式の選抜への振替を実施します。

1. 対象者

新型コロナウイルス感染症に罹患したこと等(XVI.注意事項の6.を参照)により、個別学力検査を受験できなかった志願者で、2月11日(金)の試験終了時まで追試験の申請手続を完了した者

2. その他 詳細は決定次第本学ホームページ「高校生・受験生向けサイト」にて公表します。

XI. 入学辞退

総合型選抜の合格者の入学辞退は認められません。ただし、特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ、「総合型選抜入学辞退届」(様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由を必ず記載)を本学入試課に提出してください。提出期限は、郵便による提出の場合は速達書留で令和4年2月18日(金)必着、窓口で直接提出する場合は令和4年2月21日(月)12:00までとします。受理された者は、本学又は他の国公立大学等の一般選抜を受験することが認められます。

XII. 総合型選抜出願者の一般選抜への出願

本学の総合型選抜出願者は、本学又は他の国公立大学等の一般選抜に出願することができます。ただし、本学総合型選抜に合格した場合、本学の一般選抜を受験することはできません。一般選抜に出願した者は、一般選抜の検定料のうち13,000円を返還しますので、一般選抜のインターネット出願サイトの「申込確認」よりマイページにログインし、返還手続きをしてください。

また、本学総合型選抜に合格した場合、他の国公立大学の一般選抜を受験しても合格者の対象とはならないので注意してください。(XI.入学辞退により辞退届を受理された者を除く)

XIII. 感染症予防について

出身国により予防接種状況が異なる背景や、本学の感染症に対するリスク管理の観点から、入学者選抜試験に合格した入学予定の留学生（日本国内の他大学、高等専門学校及び日本語学校等出身の留学生を含む）は、入学前の3ヵ月以内に医療機関で医師が作成した健康診断書を、原則入学前までにご提出いただきます。詳細は下記 URL を参照してください。

<https://www.titech.ac.jp/student-support/students/health/international>

XIV. 個人情報の取扱いについて

出願書類に記載の情報は、入試及び学務関連業務のみに使用します。個人情報の取り扱いは以下のとおりになります。

1. 出願にあたり知り得た個人情報については、①入学者選抜業務、②入学手続業務、③授業料徴収に関する業務を行うために利用することとします。
2. 出願にあたり知り得た個人情報及び入学者選抜の試験成績は、入学者のみ、①教務関係(学籍、修学指導等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)の業務を行うために利用することとします。
3. 入学者選抜の試験成績は、今後の入学者選抜方法等の検討に利用することがあります。
4. 上記1～3の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。委託にあたり、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
5. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受験番号、共通テストの受験番号、可否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。

XV. 個人別成績の提供について

1. 受験者本人（代理人は認めない）からの請求に基づき提供します。
 2. 第1段階選抜の不合格者については、成績の提供は行いませんので、その旨を記載した通知を送付します。
 3. 請求方法については、本要項に同封の「個人別成績送付用封筒」に、郵便番号、住所及び氏名を記入し、**404円分の切手**を貼って、出願書類と一緒に提出してください。（5月中旬頃簡易書留にて送付予定）
なお、個人別成績送付用封筒を同封していないものについては、個人別成績は送付しませんので、あらかじめ注意してください。
- 注. 書留郵便は、配達時に不在の場合、郵便局に一定期間（おおむね1週間）保管されます。郵便局が受取方法等を記載した不在票を郵便受けに入れていきますので、郵便局に直接問い合わせ受取ってください。なお、郵便局での保管期間が過ぎると、本学入試課に返送されてしまいますので、注意してください。

XVI. 注意事項

1. 本学の学校推薦型選抜と本学の総合型選抜の併願はできません。
2. 出願後の提出書類の内容変更は認めません。記入時には十分注意してください。
3. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
4. 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません
5. 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学力検査及び面接実施方法について、最大限考慮します。なお、実施方法等について変更がある場合は、「高校生・受験生向けサイト」で公表します。
6. 新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の志願者、試験直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた志願者、また、発熱・咳等の症状があり、試験当日の検温で37.5度以上の熱がある志願者は、本学の個別学力検査（総合問題）を受験することができません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者については、受験できる場合があります。**試験当日の朝、志願者自身が必ず検温を実施してください。その際、37.5度以上の熱がある志願者は、試験場への来場は控えてください。**これらの具体的な判断基準は、改めて「高校生・受験生向けサイト」で公表します。
なお、該当志願者を対象に、追試験又は別形式の選抜への振替を実施します。
注. 追試験又は別形式の選抜への振替を行った受験者の追試験は実施しません。

東工大教育ポリシー

本学では、以下に記載している「教育目標」と「養成する人材像」を掲げるとともに、全学及び各系で「卒業認定・学位授与の方針(ディグリー・ポリシー)」、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」、「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を定め、教育ポリシーとして位置づけています。

教育ポリシー全文は次の web サイトに掲載中です。

[教育ポリシー] << [東工大の方針] << [東工大について] << [本学 HP トップ]

<https://www.titech.ac.jp/0/about/policies/education>



教育目標

知的好奇心に端を発した学術研究は新たな技術と産業を生み、不可能を次々と可能にし、現代社会を築いてきました。

現在も、真理の探究と知の継承及び発展に加えて、持続可能な社会に導く革新的科学技術の創出が求められ、世界最高水準の研究とともに教育に対する期待がますます高まっています。

それに応えるべく、本学では、

- ・ 確かな専門力
- ・ 豊かな教養力
- ・ 柔軟なコミュニケーション力
- ・ 以上の修得した知識や技能等を統合し活用できる多様な展開力

を身に付け、「挑戦し続けるフロントランナー」として困難に立ち向かう気概と倫理観をもって、より良い社会を築くことができる人材を養成します。

そのために、世界最高水準の研究の中に学生を招き入れ、学生が自ら学び考える教育を実施します。

養成する人材像

確かな専門力、豊かな教養力、柔軟なコミュニケーション力、多様な展開力を身に付け、科学技術を基盤としてより良い社会を築くことができる、「挑戦し続けるフロントランナー」を養成します。

《学士課程》 「科学技術を基盤として自ら学び考えることができる人材」

学士課程では、基盤的な専門力、並びに、幅広い教養、そして、論理的に表現できる力を身に付け、倫理観と未知の世界に挑戦する意志をもって、自ら学び考えて物事に取り組むことができる人材を養成します。

※問い合わせは志願者本人が行うこと

東京工業大学 学務部入試課

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-1-2-1-W8-103
TEL (03)5734-3990 (平日 9:00~17:15 (12:15~13:15 を除く))

※入試に関する最新情報等

東京工業大学ホームページ <https://www.titech.ac.jp/>

「高校生・受験生向けサイト」 <https://admissions.titech.ac.jp/>

MAP

- 大岡山キャンパス 東急大井町線・目黒線(大岡山駅下車徒歩1分)
- すずかけ台キャンパス 東急田園都市線(すずかけ台駅下車徒歩5分)
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線(田町駅下車徒歩2分)

